

# 秋まき小麦「北見95号」

## 1 特性の概要

### (1) 来歴

「北見95号」は、2008年度（2009年6月以下播種年度をもって示す）に北海道立北見農業試験場（現、北海道立総合研究機構北見農業試験場）において、北米産クラブコムギに由来する菓子用の育成系統「北系1840」を母に、日本麺用で収量性と各種障害耐性の優れた「きたほなみ」を父として人工交配を行い、以降、選抜、固定を図ってきた育成系統である。

### (2) 特性

「北見95号」は「きたほなみ」より、アミロース含量がやや高く、生地物性が弱く（薄力）、スポンジケーキ適性およびクッキー適性が優れる北海道初の菓子用品種である（5. 参考データ表3）。成熟期は1日遅い。子実重は同等である（表1）が、開花期前後の日照時間が少ないと「きたほなみ」より低収となりやすい。容積重はやや軽く、原粒蛋白質含量は同等である（表1）。耐病性・障害耐性は、耐雪性が“やや強”で、穂発芽性が“やや難”であり、「きたほなみ」並に優れる（表2）。

表1 生育・収量調査結果（北見農試、2016～2018年度の平均）

系統名 または 品種名	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	冬損 程度	子実重 (kg/10a)	標準 対比 (%)	容積 重 (g/l)	千粒 重 (g)	原粒 灰分含量 (%)	原粒 蛋白質含量 (%)
北見95号	7/28	79	8.3	760	0.0	0.2	950	105	840	42.8	1.32	10.4
きたほなみ(標準)	7/27	82	8.6	697	0.1	0.2	909	100	848	42.6	1.25	10.3

注)倒伏程度および冬損程度は0:無～5:甚の6段階評価。

表2 耐病性・障害耐性

系統名または 品種名	耐倒伏 性	耐雪 性	うどんこ 病	赤さび 病	赤かび 病	縞萎縮 病	穂発芽 性
北見95号	強	やや強	強	強	中	やや弱	やや難
きたほなみ	強	やや強	やや強	中	中	やや弱	やや難

### (3) 長所及び短所

長所 菓子適性が優れる。

短所 容積重がやや軽い。

### (4) 用途

菓子用

## 2 候補理由

北海道の小麦作付け面積約 12.1 万 ha のうち、日本麺用の「きたほなみ」が 75%、「ゆめちから」や「春よ恋」などのパン・中華めん用が 25%（2018 年産）作付けされているが、北海道で作付けできる菓子用品種はこれまで育成されていない。日本麺用の「きたほなみ」は菓子適性が十分ではないが、近年の道産小麦志向が高まる中で同品種の特徴（アミロース含量がやや低く、生地物性がやや強い）に合わせた菓子商品の開発が行われ、菓子用として使われ始めている。しかし、「きたほなみ」の菓子適性では使用できる商品に限られることから、生地物性が弱く同品種より菓子適性に優れた道産小麦が強く求められている。

「北見 95 号」は、「きたほなみ」と比べてアミロース含量がやや高く、生地物性が弱く、実需者によるスポンジケーキ適性評価も「きたほなみ」より優れており、菓子用途への道産小麦のさらなる使用拡大へ十分貢献できる菓子適性を有している。また、耐雪性、穂発芽性などの耐病性・障害耐性は「きたほなみ」と同等であり、北海道で栽培するにあたり十分な農業特性を有している。

以上のことから、「北見 95 号」を北海道初の菓子用品種として全道の秋まき小麦の一部に置き換えて普及することで、道産小麦に対する多様なニーズに応え、道産小麦の付加価値の向上に寄与することが期待される。

## 3 普及

### (1) 栽培適地

北海道一円

### (2) 普及見込み面積

1,500ha（秋まき小麦作付け総面積 99,000ha の 1.5%）

### (3) 北海道農業試験会議（成績会議）における判定

普及奨励事項

## 4 その他特記事項

- 栽培上の注意
- 1) 赤かび病抵抗性は“中”であるが、「きたほなみ」より発病がやや多い事例があることから赤かび病の適切な防除に努める。
  - 2) 菓子用品種であるため、子実の蛋白質含量が高くなりすぎないように過剰な追肥を避ける。

## 5 参考データ

表 3 品質特性・加工適性試験結果

系統名 または 品種名	北見農試による品質特性試験					実需者によるスポンジケーキ特性試験						クッキー 試験 直径 (mm)
	製粉 歩留 (%)	ミリ ング スコア	アミロース 含量 (%)	アミロ 最高粘度 (BU)	ファリノ グラム V.V.	実需者A			実需者B			
						体積 (10点)	口溶け (20点)	合計 (100点)	体積 (10点)	口溶け (20点)	合計 (100点)	
北見95号	72.8	87.6	23.2	623	30	8.6	13.6	76.8	9.0	16.1	81.7	86.8
きたほなみ	73.1	88.6	21.3	775	49	8.1	12.8	74.1	8.3	15.4	79.3	84.4

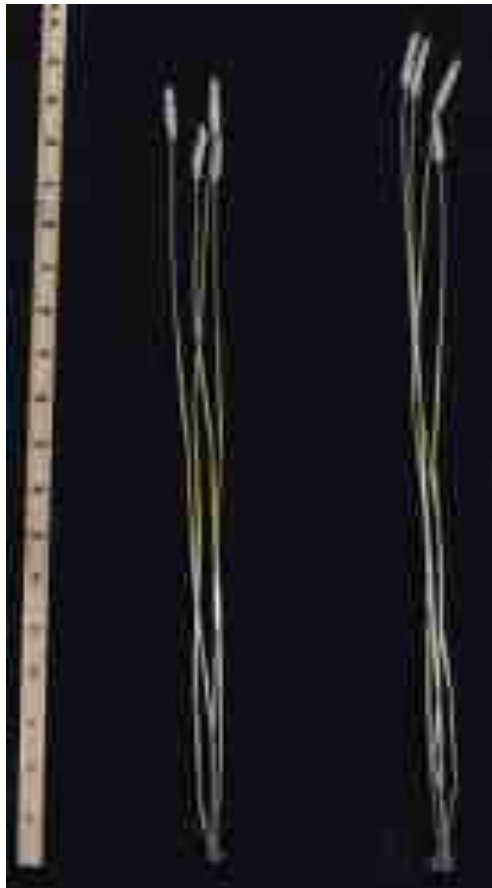
注1) 北見農試による品質特性調査および実需者によるスポンジケーキ特性は2016年度～2018年度の平均。

注2) クッキー試験は2016～17年度の平均で、直径が大きいほど優れる。

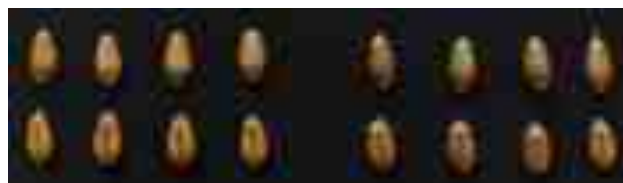
注3) ファリノグラムV.V. (バリメーターバリュウ) は生地物性を表す数値で、低いほど弱い(薄力)。

(写真)

### 秋まき小麦「北見95号」



「北見95号」の草姿 (2019年10月23日撮影、北見農試、20cmドリル播種)  
左「北見95号」、右「きたほなみ」



「北見95号」の穂(上) および粒(下)  
(2019年10月25日撮影、北見農試、20cmドリル播種)  
左「北見95号」、右「きたほなみ」